

平成 2 5 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 静岡厚生会

社会福祉法人 静岡厚生会

経 営 理 念

私たち法人は、幾年月人生を重ねてこられた人々の幸せを願い心癒される豊かな暮らしの実現を目標に社会福祉法の理念に則り次のことを業務の基本とします。

安定した経営

介護保険を取り巻く環境の変動に視点を据え、将来を展望し地域福祉を担う法人の継続的・安定的経営を目指します。

地域への貢献

法人のあるべき姿を追求すると共に、地域社会の介護サービスの充実のため中心的役割を果たします。

適切な支援

法人の基本理念に則り、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

行 動 指 針

施設は、利用者が安心して生活ができるよう健全な環境のもとで、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

五つの誓い

- 1 私達は、利用者の豊かな経験を尊敬し人格を尊重いたします。
- 2 私達は、親切・丁寧・迅速な対応に努めます。
- 3 私達は、共に語り共に喜び明るい職場づくりに努めます。
- 4 私達は、誠意・積極・自己研鑽により利用者の信頼を得るよう努めます。
- 5 私達は、地域の人々との連携を深め、地域社会と共に歩む事業の運営に努めます。

平成 25 年度 静岡厚生会 事業報告

本年度は、法人の最重要課題として進めてきました「厚生苑 清流の郷」が完成し、新耐震基準による安全性を確保しつつ、新しい居住環境で入所高齢者の明るい生活が始まりました。

そして、竣工式典においては、数多くの関係者の方々から祝福していただき、静岡市長はじめ地域自治会長の皆様方から心温まるご祝辞を頂きました。竣工後には 60 名増床の入所手続きを段階的に進め、10 月から計画どおり特別養護老人ホーム定員 120 名として運用を開始、入所待機者の緩和と解消に努めました。

また、新施設（厚生苑 清流の郷）への移転後、旧施設（旧 厚生苑）の解体については、事故なく計画どおりに無事完了し駐車場として整備をいたしました。これにより、「厚生苑 清流の郷」の他、新たに「厚寿苑」に従事する職員についても駐車場が確保できたことで、郊外の福祉施設同様、法人全体として通勤しやすい労働環境を整えることができました。

次に、「JA 厚寿苑」では一部の外塀を撤去して、車両発着昇降場を新たに設置し、デイサービスセンターの利用者の送迎時の介護負担軽減と児童安全対策通学路となっている接道歩道への配慮と安全対策を講じました。また、併せて同施設のテレビをすべて液晶テレビへ移行するなどの環境改善を行いました。

更には、旧施設（旧 厚生苑）解体と共に、平成 8 年に併設した厚生苑デイサービスセンター（旧 厚生苑 新館 からたち）の大規模修繕を行い、在宅事業部の活動拠点として再整備を図りました。

「JA デイサービスセンターさくらの郷」を葵区新聞から移転させ「居宅介護支援」、「訪問介護」、「通所介護」の 3 つの在宅介護サービスを集約し、「厚生苑 JA さくらの郷」として新たにリニューアルオープンすることができました。

この他、環境やクリーンエネルギーの活用推進に寄与するため、建設準備段階から計画を進めてきた太陽光パネル（47.5 k w）についても、3 月末から「厚生苑 清流の郷」屋上にて発電を開始しました。

以上のとおり本年度は今後の事業活動の礎となる整備を計画どおり無事に進めることができました。これは、役員や評議員をはじめ、北番町町内会、柳町町内会、民生委員、ボランティア等多くの地域関係者等からの多大なご支援とご協力によるものと深く感謝いたしております。

これからも、この地域で、安心・安全な高齢者の暮らしと生活が支えられるよう地域福祉・在宅福祉の充実を図っていきたいと考えております。

最後に、本年度の事業を終了するにあたり、関係各位皆様方に心より厚くお礼申し上げます。

平成 26 年 3 月

社会福祉法人 静岡厚生会

理事長 内藤 孝二

平成25年度 静岡厚生会 主要事業

平成25年	4月	特別養護老人ホーム厚生苑 清流の郷（名称変更）竣工・移転開設 入所定員 72 名（特養 60 名 短期入所 16 名→12 名）
	6月	特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷 増床 入所定員 96 名(特養 60→84 名 短期入所 12 名) 厚生苑デイサービスセンター清流の郷（名称変更）移転増設 通所定員 30 名→35 名 旧 厚生苑 解体・別館大規模改修開始
	8月	特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷 増床 入所定員 108 名(特養 84→108 名 短期入所 12 名)
	10月	特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷 増床 入所定員 120 名(特養 108→120 名 短期入所 12 名→中止)
	12月	旧厚生苑跡地 駐車場整備・旧厚生苑別館 大規模改修完了
平成26年	1月	旧厚生苑用地「厚生苑 JA さくらの郷」として在宅事業部拠点整備 ・厚生苑指定居宅介護支援事業所（移転・名称変更） → 「厚生苑ケアマネジメントサービス JA さくらの郷」 ・厚生苑指定訪問介護事業所（移転・名称変更） → 「厚生苑ホームヘルプサービス JA さくらの郷」
	2月	特別養護老人ホーム厚生苑 清流の郷 太陽光パネル設置
	3月	特別養護老人ホーム厚生苑 清流の郷 太陽光パネル発電開始 JA 厚寿苑デイサービスセンターさくらの郷（葵区新聞） ・厚生苑 JA さくらの郷（葵区北番町）に移転・名称変更 → 「厚生苑デイサービスセンター JA さくらの郷」 特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷 短期入所 一時再開 入所定員 120 名(特養 120 名 短期入所 再開 →12 名)

【平成25年度実施主要項目】

1. 法人経営

- ① 清流の郷への迅速な移転と施設規模定員での営業の早期実現
- ② 清流の郷での事業経営状況の迅速な分析と対応
- ③ 在宅事業部活動拠点の整備とさくらの郷の経営改善
- ④ 実施するサービスの社会的信用と信頼の向上に向けた対応
- ⑤ 新基本構想完了に伴う新たな中長期計画の策定
- ⑥ 厚寿苑の修繕計画の策定
- ⑦ 法人全体としての経費圧縮と業務効率化の向上の検討
- ⑧ 次世代エネルギー導入の検討と着手

2. サービスの充実

- ① 入居利用者及び家族の負担軽減による高齢者福祉の充実
- ② 規模定員及び営業日の拡大における稼働率の向上と安定化
- ③ 利用者の状況や希望に沿ったサービス提供体制の整備
- ④ 介護技術の向上と看取り介護への取組みの強化
- ⑤ 協力医療機関及び嘱託医師との更なる連携の強化

3. 人材育成・確保

- ① 事業規模に応じた人材の確保と職員の育成
- ② 次世代幹部職員及びリーダーの育成と配置
- ③ 人事異動及び職員交流による組織の活性化

4. 職場環境の整備

- ① 男女共同参画による活力ある職場づくり
- ② 職場風土の向上と働きやすい環境の整備
- ③ 労働安全衛生の向上と推進
- ④ 高齢者雇用の充実と障害者雇用の推進

5. 地域福祉・ボランティアの推進

- ① 地域住民、地域自治会との関係のより一層の強化と信頼の構築
- ② 安西及び番町学区住民地域福祉活動への協力と支援
- ③ J A 静岡市 高齢者福祉事業への協力と支援

I 法人概要

- 1 法人名 社会福祉法人 静岡厚生会
- 2 代表者 内藤 孝二
- 3 所在地 静岡市葵区柳町 185-5
- 4 認可日 昭和 54 年 11 月 26 日
- 5 登記日 昭和 55 年 1 月 23 日
- 6 役員・評議員

第 17 期 役員		第 6 期 評議員会	
顧問 1 名・相談役 1 名 理事 7 名 監事 2 名		評議員 17 名 (理事兼務 7 名を含む)	
顧 問	勝 山 國太郎	評 議 員 (兼)	内 藤 孝 二
相 談 役	鈴 木 脩 造	〃	芹 澤 博
理 事 長	内 藤 孝 二	〃	寺 尾 恵 亘
副理事長	芹 澤 博	〃	松 田 晃
副理事長	寺 尾 恵 亘	〃	海 野 フミ子
常務理事	松 田 晃	〃	鈴 木 洋 一
理 事	海 野 フミ子	〃	鈴 木 文 隆
〃	鈴 木 洋 一	評 議 員 (専)	太 田 晴 康
〃	鈴 木 文 隆	〃	坂 部 俊 一※
監 事	吉 田 圭 佑	〃	立 花 幾 代
〃	長 瀧 吉 宏	〃	藤 田 恵津子
【注釈】 (兼)・・・理事を兼務している (専)・・・理事を兼務していない ※・・・第三者委員		〃	坂 野 浩 義※
		〃	鷺 巣 美保子
		〃	小野田 ふみ子
		〃	柴 よ し 江
		〃	成 川 一 郎
		〃	白 石 節 子

平成 26 年 3 月 31 日現在

理 事 会

理事長 1名
副理事長 2名
常務理事 1名
理事 3名
監事 2名

顧問 1 名
相談役 1 名

評議員会

評議員 17 名

統括事業本部

経営会議

正副理事長
常務理事
施設長
在宅事業部長

在宅事業部

厚生苑ケアマネジメントサービスJAさくらの郷
JA厚寿苑ケアマネジメントサービスみずほの郷
厚生苑ホームヘルプサービスJAさくらの郷
静岡市葵区城西地域包括支援センター
厚生苑デイサービスセンターJAさくらの郷
JA厚寿苑デイサービスセンターみずほの郷

厚 寿 苑

特別養護老人ホーム				
ショートステイ				
デイサービス				
通	栄	施	施	生
所	養	設	設	活
介	管	看	介	相
護	理	護	護	談
課	課	課	課	課

厚生苑清流の郷

特別養護老人ホーム				
ショートステイ				
デイサービス				
通	栄	施	施	生
所	養	設	設	活
介	管	看	介	相
護	理	護	護	談
課	課	課	課	課

8 活動拠点

拠点名	所在地	敷地 (所有者)	建物	構造
統括事業本部	静岡市葵区 柳町 185-5	3,295.49 m ² (自己所有)	6,358.75 m ²	鉄骨造陸屋根 4 階建
特別養護老人ホーム 厚生苑清流の郷				
特別養護老人ホーム 厚寿苑	静岡市葵区 北番町 66-2	1,773.36 m ² (J A 静岡市) ※66-2 他 1 筆	3,350.73 m ²	鉄骨造陸屋根 4 階建
厚生苑デイサービスセンター JA さくらの郷	静岡市葵区 北番町 17-5	347.19 m ² (自己所有)	643.54 m ²	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺 3 階建
厚生苑ホームヘルプサービス JA さくらの郷				
厚生苑ケアマネジメントサービス JA さくらの郷				
JA 厚寿苑デイサービスセンター みずほの郷	静岡市駿河区 みずほ 1-34-17	353.00 m ² (J A 静岡市)	171.14 m ²	鉄骨造平屋建
静岡市葵区 城西地域包括支援センター	静岡市葵区 柳町 193-1	191.50 m ² (民間店舗賃貸)	72.80 m ²	鉄骨造平屋建

9 実施事業

事業部門 (部門長)	実施事業	定員	開始日 (予防介護)
特別養護老人ホーム 厚生苑清流の郷 (施設長 中川恵美子)	特別養護老人ホーム	120	昭和 55 年 6 月 1 日
	ショートステイ (介護予防事業含む) [整備床 24 床]	12	昭和 57 年 11 月 12 日 (平成 18 年 4 月 1 日)
	デイサービスセンター (介護予防事業含む)	35	平成 8 年 4 月 1 日 (平成 18 年 4 月 1 日)
特別養護老人ホーム 厚寿苑 (施設長 古木 先夫)	特別養護老人ホーム	50	平成 17 年 9 月 1 日
	ショートステイ (介護予防事業含む)	10	平成 17 年 9 月 1 日 (平成 18 年 4 月 1 日)
	デイサービスセンター (介護予防事業含む)	33	平成 17 年 9 月 1 日 (平成 18 年 4 月 1 日)
在宅事業部 (部長 中山千砂子)	厚生苑ホームヘルプサービス J A さくらの郷 (介護予防事業含む)	—	平成 8 年 4 月 1 日 (平成 18 年 4 月 1 日)
	厚生苑ケアマネジメントサービス J A さくらの郷	—	平成 11 年 10 月 1 日
	静岡市葵区 城西地域包括支援センター	—	平成 18 年 4 月 1 日
	厚生苑デイサービスセンター J A さくらの郷 (介護予防事業含む)	20	平成 21 年 4 月 1 日 (平成 21 年 4 月 1 日)
	J A 厚寿苑デイサービスセンター みずほの郷 (介護予防事業含む)	15	平成 22 年 10 月 1 日 (平成 22 年 10 月 1 日)
	J A 厚寿苑ケアマネジメントサービス みずほの郷	—	平成 22 年 9 月 1 日

Ⅱ．法人運営状況

1 理事会（開催回数 4 回）

回数	開催日時等	評議員出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告
1 (第 138 回)	平成 25 年 5 月 30 日 (木) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 15 分まで 於：城西コミュニティホール清流の郷	6 名／9 名 〔2 名／2 名〕	報告 ・厚生苑清流の郷竣工式典報告について ・平成 24 年度予備費の使用について ・平成 24 年度寄付金の受領について ・厚生苑清流の郷補助金交付及び工事費の支払いについて ・厚生苑移転増改築解体工事における借入の確定について ・厚生苑老人デイサービスセンターからたちの改修概要について ・厚生苑清流の郷太陽光パネル竣工の概算について ・平成 24 年度事業収支分析について 議案 ・平成 24 年度事業報告 ・平成 24 年度収支決算 ・評議員の辞任承認について ・定款の変更について ・欠員評議員の補充について ・基本財産の処分及び処分用地の用途変更について ・施設長等の任免について ・各種規定の一部変更について ・平成 25 年度第一次補正予算について ・改修工事単独随意契約について ・見積執行者の委任について
2 (第 139 回)	平成 25 年 8 月 2 日 (金) 午後 2 時 00 分から 午後 4 時 10 分まで 於：城西コミュニティホール清流の郷	7 名／7 名 〔2 名／2 名〕	報告 ・評議員の交代について ・法人所在地の変更について ・定款の変更と表記の修正について ・移転に伴う特別処理について ・からたち館の改修・跡地舗装工事の指名競争入札結果について ・厚生苑清流の郷特養定員の増床に伴う手続について ・厚生苑清流の郷太陽光パネル設置工事の設計監理事務費の概要経費について ・平成 25 年度第一回業務提携事業等推進委員会の報告について 議案 ・からたち館の改修・跡地舗装請負工事及び工事監理の委任契約について ・静岡県信連短期借入枠の継続について ・厚生苑清流の郷太陽光パネル設置工事等の発注について ・厚生苑清流の郷特別養護老人ホーム定員増床と短期入所生活介護事業の一部休止について ・厚生苑清流の郷定員変更等に伴う関連規定の変更について ・J A 厚生苑デイサービスセンターさくらの郷の今後の事業展開方針について
3 (第 140 回)	平成 25 年 12 月 16 日 (月) 午後 3 時 00 分から 午後 4 時 10 分まで 於：クーポール会館	7 名／7 名 〔2 名／2 名〕	報告 ・理事長専決事項報告 ・平成 25 年度施設整備計画進捗状況 ・上半期の経営状況報告 議案 ・定款の変更について ・厚生苑指定居宅介護支援事業所の移転について

			・JA厚寿苑デイサービスセンターさくらの郷の移転について ・旧厚生苑別館「からたち」の名称変更について ・在宅事業部事業所の名称統一について ・修繕積立金の取り崩しについて ・諸関連事業所の規定の廃止について ・利用者等慶弔金規定の廃止について ・評議員の退任と後任の選任について
4 (第141回)	平成26年3月26日(水) 午後3時00分から 午後4時20分まで 於：厚生苑JAさくらの郷3階	7名/7名 [2名/2名]	報告 ・平成25年度静岡市指導監査の結果について ・太陽光パネル設置工事完了について ・平成26年度3・4月関連人事について ・消費税改正に伴う対応について ・本年度決算見込みについて 議案 ・本年度最終補正予算案について ・次年度事業計画について ・次年度資金収支予算について ・従たる事業所の変更と追加について ・定款の変更について ・各種規定の一部変更について ・次年度短期資金の借入について ・厚生苑厚寿苑の給食委託契約について ・施設維持管理委託の更新について

2 評議員会（開催回数3回）

回数	開催日時等	評議員出席/総数 〔監事出席/総数〕	審議事項・報告
1 (第44回)	平成25年5月30日(木) 午後3時20分から 午後4時40分まで 於：城西コミュニティホール清流の郷	13名/19名 [2名/2名]	報告 ・厚生苑清流の郷竣工式典報告について ・平成24年度予備費の使用について ・平成24年度寄付金の受領について ・厚生苑清流の郷補助金交付及び工事費の支払いについて ・厚生苑移転増改築解体工事における借入の確定について ・厚生苑老人デイサービスセンターからたちの改修概要について ・厚生苑清流の郷太陽光パネル竣工の概算について ・平成24年度事業収支分析について 議案 ・平成24年度事業報告 ・平成24年度収支決算 ・評議員の辞任承認について ・定款の変更について ・欠員評議員の補充について ・基本財産の処分及び処分用地の用途変更について ・施設長等の任免について ・各種規定の一部変更について ・平成25年度第一次補正予算について ・改修工事単独随意契約について ・見積執行者の委任について
2 (第45回)	平成25年12月16日(月) 午後1時30分から 午後2時30分まで 於：クーボール会館	16名/17名 [2名/2名]	報告 ・理事長専決事項報告 ・平成25年度施設整備計画進捗状況 ・上半期の経営状況報告 議案 ・定款の変更について ・厚生苑指定居宅介護支援事業所の移転について

			・J A厚寿苑デイサービスセンターさくらの郷の移転について ・旧厚生苑別館「からたち」の名称変更について ・在宅事業部事業所の名称統一について ・修繕積立金の取り崩しについて
3 (第 46 回)	平成 26 年 3 月 26 日 (水) 午後 1 時 00 分から 午後 2 時 45 分まで 於：厚生苑 J A さくらの郷 3 階	15 名 / 17 名 [2 名 / 2 名]	報告 ・平成 25 年度静岡市指導監査の結果について ・太陽光パネル設置工事完了について ・平成 26 年度 3・4 月関連人事について ・消費税改正に伴う対応について ・本年度決算見込みについて 議案 ・本年度最終補正予算案について ・次年度事業計画について ・次年度資金収支予算について ・従たる事業所の変更と追加について ・定款の変更について ・各種規定の一部変更について ・次年度短期資金の借入について ・厚生苑厚寿苑の給食委託契約について ・施設維持管理委託の更新について

3 監 査 (開催回数 2 回)

開催日時等	実施立会	監査項目
内部監査 平成 25 年 5 月 20 日 (月) 午前 9 時 30 分から 午後 2 時 00 分まで 統括事業本部 厚生苑・厚寿苑	監 事 吉田 圭佑 長 畠 吉宏 理 事 長 内藤 孝二 副理事長 芹澤 博 寺尾 恵亘 常務理事 松田 晃 本部事務長 江田 仁 厚生苑清流の郷施設 松田 晃 厚寿苑施設長 古木先夫	「監事のための監査 チェックマニュアルー改訂第 4 版」 平成 24 年度事務事業監査 ・法人運営、資産関係 ・施設管理、運営関係 ・入所者処遇関係 ・入所者預り金 ・会計経理関係
静岡市指導監査 平成 26 年 1 月 10 日 (金) 午前 9 時 30 分から 午後 4 時 30 分まで 統括事業本部 厚生苑・厚寿苑	監 事 吉田 圭佑 長 畠 吉宏 理 事 長 内藤 孝二 副理事長 芹澤 博 寺尾 恵亘 常務理事 松田 晃 本部事務長 江田 仁 厚生苑清流の郷施設長 中川恵美子 厚寿苑施設長 古木先夫	平成 25 年度指導監査 ・組織運営 (法人) ・施設管理、運営関係 ・入所者処遇関係 ・入所者預り金 ・会計経理関係 ・職員勤怠関係

4 主要会議他

(1) 経営会議（開催回数 13 回）

開催回数・開催日	会議構成
第1回 平成25年 4月17日	理事長 内藤 孝二
第2回 平成25年 5月17日	副理事長 芹澤 博
第3回 平成25年 6月21日	副理事長 寺尾 恵亘
第4回 平成25年 7月19日	常務理事 松田 晃
第5回 平成25年 8月22日	統括事業本部長 松田 晃
第6回 平成25年 9月18日	統括事業本部事務長 江田 仁
第7回 平成25年10月22日	厚生苑清流の郷施設長 松田 晃 (～6月)
第8回 平成25年10月22日※	厚生苑清流の郷施設長 中川 恵美子 (7月～)
第9回 平成25年11月21日	厚寿苑施設長 古木 先夫
第10回 平成25年12月 6日	在宅事業部長 中山 千砂子
第11回 平成26年 1月23日	
第12回 平成26年 2月24日	※経営分析会議：法人顧問会計士 杉山明喜雄
第13回 平成26年 3月18日	

(2) J A静岡市高齢者福祉事業提携委員会（開催回数 1 回）

開催回数・開催日	会議構成
平成25年 7月26日（金）	委員長 芹澤 博 委員 青山 吉和（静岡市農協） 望月 守（静岡市農協） 海野 フミ子 松田 晃 古木 先夫 専門家 県経済連一級建築士 石川好隆

平成 2 5 年度

厚生苑清流の郷 事業報告

平成 2 5 年度

厚寿苑 事業報告

平成25年度 主たる活動報告一覧表（厚生苑清流の郷）

月	実 施 事 項	実施日
4月	運営会議（年間活動計画、他）	15日（月）
	新施設（厚生苑 清流の郷）への入居者引越し	21日（日）
5月	竣工式及び竣工記念式典	8日（水）
	運営会議（職員人事異動、施設移行後の確認、他）	15日（水）
	平成25年度事業監事監査	20日（月）
6月	静岡県知事選挙不在者投票	12日（水）
	運営会議（行事予定、施設移行後の確認、他）	14日（金）
7月	運営会議（行事予定、他）	12日（金）
	参議院議員通常選挙不在者投票	18日（木）
	職員健康診断	7月～9月
8月	県社協他 福祉サービス苦情解決研修会	6日（火）
	運営会議（水神祭、敬老式典、他）	15日（木）
	介護士会（AED講習）	23日（金）
	害虫駆除検査	28日（水）
9月	敬老式典	8日（日）
	静岡老施協 静岡市老人福祉施設連絡会	13日（金）
	運営会議（水神祭、他）	13日（金）
	柳町水神祭	23日（月）
10月	保健所 細菌検査	1日（火）
	運営会議（総合防災訓練、他）	15日（火）
	入居者健康診断	15、17日
	介護士会（リスクマネジメント研修）	25日（金）
	総合防災訓練	28日（月）
11月	消防設備点検	1日（金）
	入居者インフルエンザ予防接種	13、27日
	静岡老施協・介護の日街頭啓発活動	11日（月）
	運営会議（行事予定、静岡市実地指導、他）	15日（金）
	静岡市実地指導	26日（火）
12月	柳町防災訓練	1日（日）
	静岡老施協 静岡市老人福祉施設連絡会	2日（月）
	静岡老施協 リスクマネジメント研修	5日（木）
	運営会議（行事予定、静岡市社会福祉施設指導監査、他）	13日（金）
1月	静岡市社会福祉施設指導監査	10日（金）
	運営会議（行事予定、他）	15日（水）
2月	老施協 中部支部管理者研修・総会	14日（金）
	運営会議（施設設備、他）	17日（月）
	施設屋上ソーラーパネル設置開始	17日（月）
	介護士会（口腔ケア講習 尾崎先生）	21日（金）
3月	静岡老施協 静岡市老人福祉施設連合会	3日（木）
	運営会議（行事予定、他）	14日（金）
	職員腰痛検査	14、19、20、24日

平成25年度 主たる活動報告一覧表(厚寿苑)

月	実 施 事 項	実施日
4 月	新入職員研修会	1～4日(月～木)
	おねり見物	4日(木)
	運営会議(24時間シートの検討、身体拘束統一見解他)	12日(金)
5 月	新人研修(安全な移乗・移動)	7日(火)
	運営会議(共済会総会、厚寿祭、職員全体研修会、高齢者健康講座他)	15日(水)
	平成25年度事業、監事監査	20日(月)
	籠上中学職場体験実習受入	21～23日(火～木)
	職員全体研修会「リスクマネジメント、看取りケア、緊急事態の対応」	28日(火)
6 月	運営会議(厚寿祭、職員提案制度、職員全体研修会他)	12日(水)
	職員共済会総会	21日(金)
	若松町・北番町高齢者健康講座「熱中症対策と真夏の健康法」	22日(土)
	職員全体研修会「排泄介護勉強会」	24日(月)
7 月	職員健康診断	1～24日(月～水)
	職員全体研修会「感染症初級講座研修報告」	29日(月)
	運営会議(厚寿祭、職員提案制度他)	16日(火)
	被害状況等把握訓練「マグニチュード8想定」	16日(火)
	参議院議員通常選挙不在者投票	17日(水)
8 月	厚寿祭	3日(土)
	職員健康診断	14日(水)、15日(木)
	運営会議(敬老会他)	15日(木)
	相談援助実習受入(静岡福祉大)	12～9/12日(月～木)
	末広中学職場体験実習受入	27～29日(火～木)
	介護福祉士実習受入(静岡県立大)	19～9/20日(月～金)
9 月	職員健康診断	9日(月)
	運営会議(夜間防災訓練、敬老会他)	13日(金)
	敬老会	14日(土)
10 月	新人研修	2日(水)
	静岡市介護保険課実地指導	11日(金)
	運営会議(夜間想定防災訓練、職員全体研修会他)	15日(火)
	経営分析会議	22日(火)
	静岡市食品衛生指導立入検査	23日(水)
	利用者健康診断	24～25日(木～金)
	夜間想定防災訓練	29日(火)
11 月	厚寿苑運動会	9日(土)
	介護の日、街頭キャンペーン	11日(月)
	利用者インフルエンザ予防接種	12日(火)、26日(火)
	運営会議(消費税増税、電気料値上げ対策他)	13日(水)
	看護師情報交換会	26日(火)
	籠上中学総合学習訪問	28日(木)
	職員全体研修会「感染症対策、認知症を理解する、コンプライアンス」	29日(金)
12 月	職員共済会忘年会	6日(金)
	運営会議(平成26年度計画文章編、職員全体研修会他)	13日(金)
	新人研修	20日(金)
	クリスマス会	25日(水)
1 月	レジオネラ菌検査	8日(水)
	静岡市指導監査(高齢者福祉課)、生活衛生に関する指導監査(保健所)	10日(金)
	運営会議(平成26年度計画数値編、目安箱の設置他)	15日(水)
2 月	節分豆まき	3・5・15日(月、水、土)
	運営会議(平成26年度事業計画の変更、取り組むべき近々の課題他)	14日(金)
	相談援助実習受入(静岡福祉大)	24～3/11日(月～火)
	職員全体研修会「口腔ケア研修」	24日(月)
3 月	新人研修	28日(金)
	運営会議(平成25年度事業報告、介護保険制度の動向他)	14日(金)
	喫茶レク	15日(土)
	職員健康診断(腰痛検査)	19日(水)、24日(月)

1. 特別養護老人ホーム厚生苑清流の郷

ア. 運営概要

25年度のスタートと共に4月21日(日)天候にも恵まれ、清流の郷へ無事に移転し、5月8日には静岡市長 田辺様など多くの方々のご列席の中「清流の郷 竣工式典」が執り行われました。

当初は、居室環境の変化や準ユニット化による一日の流れに、入居者・職員の戸惑いもありました。徐々に慣れた頃より、地域の高齢者福祉の充実を図るとした、基本方針の基、圏域内での待機者に配慮しながら、60名の増床が6月・8月・10月と段階的に進めることができました。同時に、職員の採用増員もあり苑内研修を進めながら、利用者一人一人のニーズに沿ったケアプランを作成し、多職種連携による介護に努めています。

また、移転・職員増員の中でも、継続的に質の高い介護サービスと個別ケアを提供していくために、生活向上委員の続投により、安定した介護サービスに繋げることができました。

運営では、コスト管理の徹底として施設備品の使用方法と節電方法の確認・利用者持ち込み家電の確認・日常備品の確認などを職員皆で共有することにより、コスト意識が芽生えてきました。

地域との連携においては、柳町の「水神祭」に町内のご厚意により、利用者・職員が参加させていただき、楽しい時間を共有することが出来ました。また、年末の柳町防災訓練には、地域の一員として参加し救急法の三角巾の使用方法を伝達することもできました。

看取り介護加算創設当初から「看取り介護」を開始継続していますが、本年度は、「看取り」への理解が多く、厚生苑清流の郷を「終の棲家」と捉え、穏やかに過ごしたい、過ごしてもらいたいと願う利用者・家族の思いに少なからず寄り添うことができました。

1. 特別養護老人ホーム厚寿苑

ア. 運営概要

今年度の運営方針「入居者一人ひとりに寄り添った介護を実践し、“楽しく自分らしい”暮らしが実現できるよう利用者満足度を向上させます」「24 時間シートに基づいた介護サービスを提供し、その人に寄り添った支援に取り組みます」この2つの運営方針を中心とした事業を展開してまいりました。

まず、利用者がその人らしく生活できるよう、24 時間シートを実態に即して、PDCAサイクルにて見直しを図り、利用者の生活環境を的確に把握することに努めました。結果、“楽しく自分らしい”暮らしに、微力ながら貢献できたのではないかと思います。次に利用者が安心して生活できるようにリスク対応、接遇の向上に努めました。具体的には、外部研修への派遣、内部研修での情報共有、接遇面では、自分がされて嫌なことはしない、ということを中心に、優しい眼で、和らいだ顔で、礼儀正しく、利用者・利用者家族に接することに努め「ありがとう」をたくさんいただけるように取り組みました。

チームケアの実践面では、問題点を発見する所から始め、机上論を繰り返すよりも、まず行動し挑戦しながら行動の質を高める、という手法を取り入れました。そして、その結果について各委員会で協議・検討、併せて他の委員会にも情報発信することにより、情報の共有に努め、分かりやすく、実践しやすく、評価しやすいケアとなり、利用者の充足度の向上に貢献できたのではないかと思います。地域交流面では、新たなボランティア団体の開拓を行う一方、介護福祉士等の実習施設として、また、身近な施設、存在価値のある組織であり続けるために、利用者・地域の人たちとの「絆」を深めながら地域との連携・共生に努めました。事業を長期全体で見てみますと、6月から10月までは低調に推移しましたが12月以降持ち直し、ほぼ上限に近い稼働率となりました。結果、目標対比100.3%、年間平均稼働率96.3%と年間トータルでは、何とか合格ラインの数字を残すことができました。

イ. 利用状況（厚生苑清流の郷）

■ 市町村別／性別人員

平成 26 年 3 月 31 日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	18	－	－	18
女	93	2	－	95
合 計	111	2	－	113

■ 性別／年齢構成人員

市町村		静岡市		市 外		県 外		合 計
性 別		男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	－	－	－	－	－	－	－
	60～64	－	1	－	－	－	－	1
	65～69	1	－	－	－	－	－	1
	70～74	－	3	－	－	－	－	3
	75～79	3	5	－	－	－	－	8
	80～84	5	15	－	1	－	－	21
	85～89	7	24	－	－	－	－	31
	90～94	1	25	－	1	－	－	27
	95～99	－	17	－	－	－	－	17
	100～	1	3	－	－	－	－	4
平均年齢		男 83.7 歳		女 88.3 歳		全 体 87.6 歳		

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	1	4	2	5	6	18
女	5	6	34	32	18	95
合 計	6	10	36	37	24	113
割 合	5.3%	8.8%	31.9%	32.8%	21.2%	平均介護度 3.57

イ. 利用状況（厚寿苑）

■ 市町村別／性別人員

平成 26 年 3 月 31 日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	8	—	—	8
女	41	—	—	41
合 計	49	—	—	49

■ 性別／年齢構成人員

市町村		静岡市		市 外		県 外		合 計
性 別		男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	—	—	—	—	—	—	—
	60～64	—	—	—	—	—	—	—
	65～69	—	—	—	—	—	—	—
	70～74	1	1	—	—	—	—	2
	75～79	1	1	—	—	—	—	2
	80～84	1	6	—	—	—	—	7
	85～89	4	4	—	—	—	—	8
	90～94	—	18	—	—	—	—	18
	95～99	—	10	—	—	—	—	10
	100～	1	1	—	—	—	—	2
平均年齢		男 85.5 歳		女 90.3 歳		全 体 89.5 歳		

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	—	1	2	3	2	8
女	1	4	11	11	14	41
合 計	1	5	13	14	16	49
割 合	2.0%	10.2%	26.5%	28.6%	32.7%	平均介護度 3.80

ウ. 年間利用者サービス実施状況（厚生苑清流の郷）

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4 月	4 日 脚見物（本部脚） 18 日 電電萩の会歌の会	北番町町内会・婦人会 浅間神社木遣保存会 電電萩の会 個人ボランティア（3 人）
5 月	8 日 竣工記念式典 14 日 電電萩の会歌の会	浅間神社木遣保存会 電電萩の会 個人ボランティア（3 人）
6 月	1 日 英和女学院 花の日訪問 11 日 電電萩の会歌の会 19 日 静岡ホーム保育園訪問	英和女学院中等部・高等部 電電萩の会 静岡ホーム保育園 個人ボランティア（3 人）
7 月	9 日 電電萩の会歌の会 27 日 安倍川花火大会鑑賞（施設内）	電電萩の会 個人ボランティア（3 人）
8 月	5 日 ウクレレボランティア 13 日 電電萩の会歌の会	ウクレレ「しゃぼん玉」 電電萩の会 個人ボランティア（3 人）
9 月	5 日 声楽ボランティア 8 日 敬老式典 10 日 電電萩の会歌の会 13 日 浅間木遣 23 日 柳町水神祭	ウクレレ「しゃぼん玉」 電電萩の会 浅間神社木遣保存会 柳町町内会・婦人会 個人ボランティア（3 人）
10 月	5 日 英和女学院 収穫祭訪問 8 日 電電萩の会歌の会 15、17 日 入居者健康診断 28 日 総合防災訓練	英和女学院中等部・高等部 電電萩の会 静岡市追手町消防署 平和出張所 柳町町内会 個人ボランティア（3 人）
11 月	12 日 電電萩の会歌の会 13、27 日 インフルエンザ予防接種 20 日 ピアノボランティア 22 日 大正琴演奏 28 日 籠上中学 生徒訪問	電電萩の会 ミーナの会 籠上中学校 個人ボランティア（4 人）
12 月	4 日 ウクレレボランティア 6 日 英和女学院 クリスマス訪問 10 日 電電萩の会歌の会 12 日 演奏ボランティア 20 日 声楽ボランティア	ウクレレ「しゃぼん玉」 英和女学院中等部・高等部 電電萩の会 ボランティアCHA-CHA 個人ボランティア（3 人）
1 月	14 日 電電萩の会歌の会	電電萩の会 個人ボランティア（3 人）
2 月	3～9 日 節分行事（各フロア）	個人ボランティア（3 人）
3 月	11 日 電電萩の会歌の会	電電萩の会 個人ボランティア（3 人）

ウ. 年間利用者サービス実施状況（厚寿苑）

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4 月	4 日 浅間神社 おねり見物 10 日 ウクレレボランティア 18 日 若松町歌のボランティア 上旬 各フロア お花見外出レク	ウクレレ同好会トロピカルズ・しらゆり会・歌うひまわり会・J A 静岡市長田女性部・若松町ナツメロ同好会・書道クラブ
5 月	6 日 声楽ボランティア 11 日 喫茶レク 31 日 書道教室 15 日 フラワーアレンジメント 16 日 若松町歌のボランティア	籠上中学成人教育ボランティア・若松町ナツメロ同好会・J A 静岡市長田女性部・J A 静岡市美和女性部・歌うひまわり会・書道クラブ
6 月	12 日 静岡県知事選挙不在者投票 16 日 静岡連阿波踊り 20 日 若松町歌のボランティア 24 日 歌うひまわり会	籠上中学成人教育ボランティア・しらゆり会・歌うひまわり会・静岡阿波踊り静岡連・TMサークル・中山元施設長・若松町ナツメロ同好会
7 月	10 日 フラワーアレンジメント 18 日 若松町歌のボランティア 25 日 ウクレレボランティア 29 日 歌うひまわり会	歌うひまわり会、J A ひまわり会・籠上中学成人教育ボランティア・中山元施設長・若松町ナツメロ同好会・書道クラブ・ウクレレ同好会トロピカルズ
8 月	3 日 厚寿祭 30 日 書道教室 6・7・9・11・12 日 流しそうめんレク 22 日 若松町歌のボランティア 26 日 歌うひまわり会	北番町町内会婦人会・若松町婦人会 J A 静岡市北部じまん市・J A ひまわり会・J A 長田女性部・歌うひまわり会・若松町ナツメロ同好会
9 月	4・24 日 中山元施設長と歌う会 14 日 敬老会 16 日 歌うしらゆり会 19 日 若松町歌のボランティア 20 日 J A ひまわり会	中山元施設長・籠上中学成人教育ボランティア・しらゆり会・J A ひまわり会・フラワーアレンジメント・歌うひまわり会・若松町ナツメロ同好会
10 月	16 日 中山元施設長と歌う会 17 日 若松町歌のボランティア 24・25 日 利用者健康診断 28 日 歌うひまわり会	中山元施設長・籠上中学成人教育ボランティア・J A ひまわり会・フラワーアレンジメント・歌うひまわり会・若松町ナツメロ同好会・書道クラブ
11 月	6 日 ウクレレボランティア 9 日 運動会 22 日 書道教室 19・20・23 日 焼き芋レク 21 日 若松町歌のボランティア	ウクレレ同好会・籠上中学成人教育ボランティア・榎会・中山元施設長・J A ひまわり会・歌うひまわり会・若松町ナツメロ同好会・TMサークル
12 月	12 日 声楽ボランティア 18・19・20 日 イルミネーションレク 20 日 お飾り作り 21 日 喫茶レク 25 日 各フロア クリスマス会	榎会・川童蛇皮線・声楽ボランティア・若松町ナツメロ同好会・J A ひまわり会・カラオケ歌うひまわり会・中山元施設長
1 月	15 日 フラワーアレンジメント 16 日 若松町歌のボランティア 17 日 J A ひまわり会 27 日 歌うひまわり会 31 日 書道教室	籠上中学成人教育ボランティア・若松町ナツメロ同好会・J A ひまわり会・カラオケ歌うひまわり会・中山元施設長・書道教室・フラワーアレンジメント
2 月	3・5・15 日 各フロア 節分豆まき 12 日 フラワーアレンジメント 20 日 若松町歌のボランティア 21 日 J A ひまわり会 28 日 書道教室	フラワーアレンジメント・若松町ナツメロ同好会・J A ひまわり会・カラオケ歌うひまわり会・中山元施設長・籠上中学成人教育ボランティア
3 月	12 日 フラワーアレンジメント 20 日 若松町歌のボランティア 24 日 歌うひまわり会 28 日 書道教室 27 日 ウクレレボランティア	籠上中学三年生訪問ボランティア・フラワーアレンジメント・ナツメロ同好会・ウクレレ同好会トロピカルズ・カラオケ歌うひまわり会・榎会

(厚生苑清流の郷)

月例	内 容	実 施 日
余暇	民謡クラブ	月 2 回
	書道教室	月 1 回
	電電菰の会歌の会	月 1 回
	レクリエーション	随 時
	誕生会(各フロア)	月 1 回
介護	入 浴	月 8 ～ 9 回
	シーツ交換	月 8 ～ 9 回
	西北モラロジー婦人部(清掃、ウエス等)	月 1 回
	買い物	随 時
	ケアカンファレンス	月 1 0 回程度
	理 髪	月 3 回
	美 容	随 時
看護	総回診	月 6 ～ 7 回
	皮膚科往診	月 1 ～ 2 回
	体重測定	月 1 回
	検 尿	随 時
	血圧測定	週 2 回
栄養	嗜好調査	半年毎
	誕生会(特別メニュー)	誕生日に提供
防災	防災訓練	月 1 回他 総合防災訓練 年 1 回

(厚寿苑)

月例	内 容	実 施 日
余暇	踊り鑑賞と歌う会	随 時
	書 道	月 1 回
	カラオケ	月 1 回
	フラワーアレンジメント	月 1 回
	外 出	随 時
	レクリエーション	随 時
	誕生会(ユニット毎)	随 時
	リハビリ体操(ユニット毎)	毎 日
介護	シーツ交換	月 8 ～ 9 回
	ケアカンファレンス	月 1 0 回
	理 髪	月 2 回＋利用者希望時
	入 浴	月 8 ～ 9 回
看護	総 回 診	月 8 ～ 9 回
	血液検査	年 1 回＋随時
	検尿(対象者のみ)	年 1 回＋随時
	検 温	週 2 回＋随時
	血圧測定	週 2 回＋随時
	インフルエンザ予防接種	年 1 回
栄養	特別メニュー	月 1 回
	嗜好調査	年 3 回
	おやつ作り	随 時
	体重測定	月 1 回
防災	総合防災訓練	年 2 回
	防災部分訓練	月 1 回

2. 厚生苑ショートステイ清流の郷

運営概要

4月の厚生苑移転に伴い、事業所名称を厚生苑ショートステイ清流の郷とし、新たなスタートを切った1年となりました。

多床室でありながらプライバシーが配慮された快適な居室環境と、料金面から見た利用のしやすさ、圏域の高い高齢化率や要介護高齢者数の多さ等から、ショートステイのニーズは高かったのですが、300人を超える長期入所の待機者数を勘案し、まずは長期入所の事業を優先したため、定員数を4月から9月までは12床、10月以降は長期の空床ベッドを利用することで10床と縮小し、3月下旬からは受け入れ一時休止という経過となりました。

このような状況の中で、厚生苑のショートステイを継続利用することによって在宅介護を支えてきた利用者やご家族が、事業の縮小・休止によって新たな介護負担が増大しないように、長期入所のお申込みをされている方には判定会による長期入所の検討、在宅介護を継続される方についてはケアマネジャーと連携をとりながら他事業所へのスムーズな移行へ配慮しました。

ショートステイは在宅サービスであり、ご家族や、他の介護・医療サービスとの連携、さまざまな疾病や家庭環境による個別性への対応が求められますが、大きな事故やトラブルもなく事業運営ができました。

26年度中の事業再開を想定し、今後は事業の見直しを行い、利用率の向上や利用のしやすさ等の検討を行っていきます。

3. 厚生苑デイサービスセンター清流の郷

運営概要

デイサービスは、利用者、ご家族との信頼関係を築いて参りました。平成25年上半期は、6月に移転後は、新規利用者也増加しました。下半期の12～2月の寒い時期は入院、骨折と体調を悪くされる方も多く数字が伸び悩みましたが、その間、増回利用も多くなり、安心して利用することで家族の負担の軽減や、より良い評価も得ることができました。また、ボランティアグループ、個人ボランティア活動にも協力者が増え、利用者の方も大変喜ばれております。

2. JA厚寿苑ショートステイ

運営概要

短期入所事業は、特養と一体となっていることから、事業運営は利用者がその人らしい生活の継続ができるよう、本人と家族の思い・望む介護を中心に取組みました。最重点施策である事故発生防止、与薬ミス防止等の安全管理につきましても、安心して過ごせる介護、楽しく居心地のよい生活空間を提供することができました。また、利用者ひとり一人の個性や生活リズムに沿ったケアについても、空室情報の提供に努めながら、在宅介護における情報をより正確に把握することで、安心して暮らすことのできる楽しい時間・空間・環境を提供でき、利用者ニーズに応えられたと思います。

事業をショート全体で見てみますと、長期入所者の空床居室を利用することで、稼働率の高い月は102.9%ありましたが、低い月は90.6%と、昨年と比較すると10ポイントほど低い稼働率状況で推移しました。しかし計画対比では、103.2%と何とか計画をクリアすることができました。

3. JA厚寿苑デイサービスセンター

運営概要

通所事業では、利用者に「より楽しく」「より安全に」「より快適に」そして「生きがいを持って」日々を送れるサービスの提供、利用者家族の介護負担の軽減を中心に、事業運営を展開してまいりました。

そして、昨年と同様に多くのボランティアグループの皆さんの協力をいただきながら、併せて職員会議で協議・検討を重ねながら、レクリエーションの充実を図ってまいりました。結果として特色のあるデイサービスづくりができ、利用者に多くの楽しい時間・空間を提供できたと感じています。

また、事業所コンセプト《あなたの笑顔が宝物》を、通所介護利用者の『生活目標の場』と位置づけ、主体性のある在宅生活が継続できるように努めました。そして「目配り」「気配り」「心配り」にも努め、事故防止に努めたことにより、利用者・職員の優しい笑顔が多く見られた1年ともなりました。

しかしながら、事業をデイ全体で見てみますと、ケアマネジャーとの連携を密にすることで利用者・ご家族からの安心・信頼につなげることはできたのですが、利用者増には結びつかず、体調不良による当日キャンセルが多かったこともあり、安定した運営を展開することができませんでした。そして稼働率計画を83.3%に設定したこともあって、計画をクリアできた月はひと月もなく、年間を通じて非常に厳しい一年となりました。

デイサービス年間行事実施状況（厚生苑清流の郷）

実施月	行 事 内 容	レクリエーション活動
4 月	お花見週間 おやつ作り	書道 クラフト作り
5 月	フリーウィーク週間 ゲーム大会	俳句の会 塗り絵
6 月	映画鑑賞 おやつ作り	貼り絵 カラオケ
7 月	七夕祭り・ゲーム大会 うちわ作り	園芸 編み物
8 月	夏祭り週間 肩たたき棒作り	パズル ドリル
9 月	敬老会・ボランティア週間	舞踊鑑賞 音楽鑑賞
10 月	運 動 会 おやつ作り	ウクレレ ハーモニカ
11 月	ゲーム大会 クリスマスリース作り	歌
12 月	クリスマス会 ボランティア週間	<毎月>
1 月	新年を祝う会（餅つき）お香袋作り	カレンダー作り 防災訓練
2 月	節分週間（豆まき）ゲーム大会	体重測定
3 月	おやつ作り フリーウィーク週間	

4. 地域交流センター事業（城西コミュニティホール清流の郷）

※城西地域包括支援センター管理

ア. 運営概要

地域交流センター事業は、地域住民の福祉活動等を行う場として地域交流室を提供する事業です。厚生苑清流の郷竣工に伴い、新規「城西コミュニティホール清流の郷」として、5月から運営を開始しました。利用状況は初年度であったこともあり、地域への情報発信や周知が進んでおらず、地域住民による利用は限られておりましたが、法人の各事業所において、会議、研修、行事等で使用し、地域交流や職員の資質向上のための機会となりました。

イ. 利用状況

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会議・研修会	-	2	1	1	4	3	2	1	2	1	1	1	19
行事・催事	-	4	3	0	4	4	3	2	7	1	0	1	29
計	-	6	4	1	8	7	5	3	9	2	1	2	48

■ 利用会議・研修会

静岡厚生会理事会・評議員会、職員会議（職員研修、介護職員会議、全体会議他）、職員採用試験、厚生苑・厚寿苑合同優先入所検討会、地域で高齢者を支える会、JA 通所介護部会民生委員対象の包括説明会、地域ケア会議、他

■ 利用行事・催事

竣工式（式典）、敬老会、不在者投票、日本舞踊ボランティア、デイサービスボランティア（ウクレレ同好会 籠上中学校学生ボランティア、コーラス、静岡東高校マンドリンクラブ他） 他

デイサービス年間行事実施状況（厚寿苑）

実施月	月の行事	レクリエーション活動等	
4月	桜の花見・桜の壁面飾り作成	カラオケひまわり会	貼り絵
5月	喫茶レク	J Aひまわりの会	ちぎり絵
6月	運動会	榎会、元施設長と歌う会	クラフト
7月	七夕飾り、厚寿祭準備	若松町ナツメロ同好会	書道クラブ
8月	夏祭り、流しそうめんレク	ウクレレ『トロピカルズ』	頭脳レクリエーション
9月	敬老会	TMサークル(3D体操)	運動レクリエーション
10月	映画・歌謡コンサート上映	静岡浅間木遭連合会	カラオケ
11月	焼き芋レク	声楽ボランティア	映画鑑賞
12月	クリスマス会	書道教室、川童蛇皮線	大人の塗り絵
1月	初釜	フラワーアレンジメント教室	
2月	節分祭	静岡アロハスタジオ	
3月	喫茶レク	毎月：カレンダー作り・体重測定・防災訓練	

4. 地域交流センター事業（厚寿苑）

ア. 運営概要

静岡市、若松町内会、静岡厚生病院、北部じまん市、静岡県社会福祉協議会、中村学園等の外部法人の機関・団体に開放し、積極的に活用していただいています。また静岡市葵区城西包括支援センターによる地域ケア会議には、地域住民の代表や地域の福祉関係者が集まりますので、地域に厚寿苑を認識していただくことができます。加えて、施設内の行事や会議、利用者のクラブ活動等にも活用しています。地域交流室につきましては、利用者にとって地域の方々と触れ合える大切なコミュニケーションの場となっています。

イ. 利用状況

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会議・研修会	7	7	6	6	5	6	6	5	6	7	2	2	65
行事・催事	2	3	1	1	5	1	1	4	2	1	1	4	26
総 計	9	10	7	7	10	7	7	9	8	8	3	6	91

■ 利用会議・研修会

職員会議(全体会議、運営会議、リーダー会議、事故対策予防委員会、防火防災管理委員会)、職員全体研修会、職員健康診断(腰痛検査)、口腔ケア研修会、静岡県介護福祉士会(研修)、北部じまん市役員会、若松町町内会健康講座、安西地域ケア会議、防災訓練、安西学区認知症講演会、ヘルパーミーティング、城西地域包括学習会、警備員講習会 他

■ 利用行事・催事

厚寿祭、敬老会、健康講座、フラワーアレンジメント、書道教室、歌の会、声楽ボランティア、デイ運動会、特養運動会、喫茶レク、焼き芋レク、流しそうめんレク、お茶会、中村学園ボランティア、フラダンスボランティア、お脚見学、末広・籠上中学校職業体験学習、籠上中学校PTA成人教育ボランティア、S&Mコーラスボランティア 他

5. 実習生受入（厚生苑清流の郷）

ア. 実習生受入状況

	介護福祉士	社会福祉士	管理栄養士	体験実習等	合 計
件 数	0	0	0	3	3
人 数	0	0	0	3	3
延人数	0	0	0	3	3

イ. 受入依頼先

静岡県立吉田高校、常葉学園高等学校、静岡女子高等学校

6. ボランティア活動（厚生苑清流の郷）

ア. 活動状況

月	件数	人数	ボランティア内訳						1日 平均
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数	人数	件数	人数	団体数	人数	
4	8	63	5	47	3	16	－	－	2.10
5	6	50	3	34	3	16	－	－	1.61
6	7	65	3	39	3	16	1	10	1.83
7	5	35	2	19	3	16	－	－	1.13
8	6	39	3	23	3	16	－	－	1.26
9	9	59	6	43	3	16	－	－	1.97
10	9	58	5	32	3	16	1	10	1.87
11	10	87	5	35	4	17	1	35	2.73
12	9	56	5	30	3	16	1	10	1.81
1	5	35	2	19	3	16	－	－	1.13
2	4	22	1	7	3	15	－	－	0.79
3	5	35	2	19	3	16	－	－	0.67
計	83	604	42	347	37	192	4	65	1.58

イ. 活動団体

北番町町内会・婦人会、柳町町内会・婦人会、静岡西北モラロジー婦人部、電電菰の会、浅間神社木遣保存会、英和女学院高等部・中等部、静岡ホーム保育園、籠上中学校、個人ボランティアほか

5. 実習生受入（厚寿苑）

ア. 実習生受入状況

	介護福祉士	社会福祉士	管理栄養士	体験実習等	合 計
件 数	1	0	2	7	10
人 数	2	0	2	102	106
延人数	50	0	36	124	210

イ. 受入依頼先

静岡福祉大学、籠上中学校、末広中学校、中村学園、静岡県立大学

6. ボランティア活動（厚寿苑）

ア. 活動状況

月	件数	人数	ボランティア内訳						一日 平均
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数	人数	件数	人数	団体数	人数	
4	6	37	6	37	－	－	－	－	1.23
5	7	32	6	31	1	1	－	－	1.03
6	10	57	8	55	2	2	－	－	1.90
7	8	42	5	39	3	3	－	－	1.35
8	10	95	8	91	2	4	－	－	3.06
9	11	47	9	45	2	2	－	－	1.57
10	8	34	7	33	1	1	－	－	1.10
11	13	98	10	49	2	2	1	47	3.27
12	9	39	7	37	2	2	－	－	1.26
1	9	34	7	32	2	2	－	－	1.10
2	6	22	4	20	2	2	－	－	0.79
3	10	100	7	51	2	2	1	47	3.23
計	107	637	84	520	21	23	2	94	1.75

イ. 活動団体

J A静岡市助け合いグループ(オレンジの会・ひまわりの会)、若松町ナツメロ同好会、カラオケ歌うひまわり会、榎会、ウクレレ同好会トロピカルズ、声楽ボランティア、TMサークル、静岡アロハスタジオ、籠上中学校PTA成人教育ボランティア、北番町婦人会、若松町婦人会、静岡阿波踊り静岡連他

7. 各種委員会・会議活動（厚生苑清流の郷）

ア. 生活向上委員会

① 安全管理・感染症委員会

安全管理では、事故報告書やヒヤリハットの集計・分析を行った。10月にリスクマネジメント研修として外部講師を呼び「危険予知訓練と法的責任について」全体研修を実施した。感染症ではインフルエンザ・ノロウイルスについての内部研修を行い感染予防の周知に努めた。

② 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会

身体拘束ゼロは継続されている。虐待防止ではスピーチロックについてのアンケートにより現状を把握し、「スピーチロックをなくしていこう」のスローガンを掲げ、職員間のコミュニケーションを高める手段として、ポジティブノートを設置し自由記載にて情報の共有を行った。

③ 褥瘡委員会

「褥瘡ゼロ運動」を実施し、職員の褥瘡に関する意識の向上につなげ褥瘡予防を目的にベット・マットレス管理を行い、利用者に合った寝具の提供を行った。また、拘縮予防については、体交枕などの活用を行った。

④ 食事・口腔委員会

毎月、協力歯科医からの助言をいただき利用者の口腔機能維持を図り、2月全体会では、「介護に生かす口腔ケア」の苑内研修を実施して頂いた。食事形態については、多職種間での情報の共有により、変更や見直しを行った。また、水分摂取状況の確認は、排泄委員会と協力しながら便秘の解消・オムツ外しの取り組みを行った。

⑤ アクティビティ委員会

「アクティビティ週間」を継続し、毎月季節感のある内容を行った。食事委員との協力では、食べる楽しみを広げバイキングなど好評を得ている。また、柳町水神祭には、積極的に参加することが出来た。

⑥ 入浴委員会

移転により機器の設置環境が変わったため、清掃や片づけ等のマニュアルの見直しと、物品管理・機械操作への配慮を行い、安全な入浴の実施に努めた。

⑦ 排泄委員会

「オムツ外し」への取り組みでは、十分な水分補給と離床の働きかけを行った。下剤に頼らない排便コントロール（センナ茶）を目指したが効果に差異があり、今後も引き続き検討課題となった。

⑧ 広報委員会

広報紙「厚生苑清流の郷だより」の発行を中心に施設のPR活動を実施した。

7. 各種委員会・会議活動（厚寿苑）

ア. 生活向上委員会

①身体拘束廃止委員会

毎月身体拘束に該当する利用者の確認、身体拘束に該当する利用者の拘束時の様子、各フロアにて実施している身体拘束継続の有無について協議を重ねました。特に身体拘束の統一見解について協議を重ね方向性についての確認ができました。また、職員間で言い辛いことを伝える手段として、2月1日から目安箱を設置、同委員会で検討し、身体拘束に該当すると判断した件についてはその事象を公表することになりました。

②事故・安全対策委員会

マニュアル、事故予防チェックリスト、事故・ヒヤリハットの定義に基づき、同じ事故を繰り返さないための検討を行い、危険箇所の確認など情報の共有を推進、フロア毎に目標を作成・実践することによって事故予防への意識強化を図りました。そして、事故対策が身体拘束へ繋がらないよう合同会議を継続し、連携の取れる体制としています。また、認知症を理解した安全な介護・介助、リスクマネジメント、緊急事態発生時対応についての研修会を開催し、危険予知訓練等の活用について勉強しました。

③感染・褥瘡予防委員会

感染症対策マニュアル・衛生チェック表に基づき、手洗い・マスク着用・咳エチケットなどの啓蒙活動・うがい薬の設置、ユニットキッチンの衛生管理等、衛生チェックを実施しました。また、ノロウイルス、インフルエンザ、結核、MRSA、肝炎、疥癬、白癬への予防対策、感染時の職員全体研修会を実施、衛生管理の徹底を図りました。そして、褥瘡予防としては、定期的体位変換、エアーマットの使用、体圧分散マットの使用など、利用者の状態に合わせた介護手法・用具を取り入れ、褥瘡発生予防に努めました。また、褥瘡対策マニュアルの見直し検討に取り組み始めました。

④食事・口腔ケア委員会

行事・レクリエーションを通じて、喫茶・流しそうめん・焼き芋レク等、四季を演出した食事・おやつ提供をしました。そして、食中毒事故等が発生しないよう食事の提供方法も変更し、加えて一人ひとりの要望に応じた食事の提供に努めました。併せて、口腔ケア研修会を開催し、機能維持の重要性についての理解を深めました。また、じまん市・地域町内会と連携し、地産・地消を推進しました。

⑤アクティビティ委員会

ユニット毎に誕生祝、四季に合わせたレクリエーション、おねり見物、さくら見物、駄菓子レク、喫茶レク、流しそうめんレク、焼き芋レク、ケーキバイキング、イルミネーションドライブ等を実施しました。特に「夏祭り」「敬老会」では、地域住民の皆様の協力をいただき、盛大に開催することができました。そして各階空間スペースにおいては、季節感・家庭的雰囲気演出できる装飾を施し、同じ空間に利用者の皆様の作品を掲示しました。

⑥排泄委員会

利用者の状態や意思、生活チェック表を活用・確認しながら、各ユニットにて排泄ケアに努めることができました。また、新人研修と排泄介護勉強会を同時に開催し、職員個々のスキルアップを図りました。

⑦広報担当

厚寿苑だよりを毎月発行、利用者・家族等への郵送、苑内各所へ掲示するなど、利用者の生活状況や利用者家族に知ってほしいことを周知できるようにしています。

イ. 会議活動（厚生苑清流の郷）

①施設連絡会

各事業所の運営状況の報告、検討や法人運営の検討等を実施する。

②運営会議

毎月1回、施設長・副施設長・課長・栄養士・所長・フロアリーダー・生活相談員等による運営会議を開催している。事業計画の作成、事業実施状況、進捗状況の報告・検討、また共通課題についても検討を行っている。

③フロア会議

フロア毎に会議を開催し、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう問題提起やケア内容について検討し、情報の共有化を図っている。リーダー会や各委員会からの要請事項については、具体的な実施方法を決定する。

④ケアカンファレンス

利用者、家族の要望に沿った個別介護サービス計画について各職種が検討する。

⑤介護士会

外部研修報告、外部講師を依頼しての施設内研修、各委員会活動報告、各フロア活動報告、施設全体で取り組む事柄等の周知を行なった。

⑥優先入所判定委員会

外部から第三者委員として2名参画していただき、入所申込者のうちから優先入所判定基準により、上位入所候補者を決定する。

⑦給食会議

毎月1回、管理栄養士、給食委託業者、食事・口腔ケア委員による食事に関する。委員会内で検討し、運営会議において報告する。

⑧防火・防災管理委員会、拡大防災会議

防災に関することを協議するため、管理委員会・拡大防災会議を開催。

⑨ミーティング(特養、通所)

職員研修、カンファレンス、運営会議の報告、運営上必要な情報と決定事項の周知等を行っている。

イ. 会議活動（厚寿苑）

①施設連絡会

各事業所の運営状況の報告・検討、法人運営の検討会等を実施しました。

②運営会議

毎月1回、施設長・副施設長・課長・職種長・フロアリーダー等による会議を開催、事業計画の作成と実施状況の報告、法人動向の報告、厚寿苑運営に関する検討と決定、情報の共有化等の推進をしています。

③リーダー会議

毎月1回、ユニットリーダーによる会議を開催、運営方針の確認・検証、情報の共有化等の推進をしています。主催担当はリーダー交代制。

④フロア会議

月1回開催、フロア毎、利用者のモニタリングを行い、心身の変化に応じた介護ができるよう検討・検証、情報の共有化を図っています。また、運営会議、リーダー会議の報告、各委員会からの要請事項について検討し、具体的な取組方法を決定しています。主催担当はユニットリーダー。

⑤ケアカンファレンス

利用者・家族・介護サービス計画担当者・介護支援専門員・各職種長・施設長等が参加して、個別介護サービス計画を作成するための会議を開催しています。主催担当は介護支援専門員。

⑥職員全体会議

本年度は年6回開催、理念・事業計画・事業報告の周知と職員のスキルアップのための研修会を開催しました。主催担当は介護課長・次長。

⑦ミーティング(通所)

月2回開催、行事、レクリエーションの企画・準備、職員研修、デイ運営に関する検討と決定、利用者情報の共有化等の推進をしています。主催担当はデイ所長。

⑧防火・防災管理委員会

年2回、防災会議を開催しました。主催担当は防火管理者。

⑨介護サービス自己評価確定会議

各グループ別の自己評価を基に、施設としての自己評価ランクを決定する為の会議を開催しました。出席者は施設長・副施設長・介護課長・看護課長・相談課長。主催担当は相談課長。

⑩優先入所判定委員会

本年度は7回開催、6月からは厚生苑清流の郷と合同で開催しました。第三者委員・施設長・副施設長・各職種長・相談員を委員として、入所申込者の中から優先入所判定基準により、上位入所候補者を決定しました。主催担当は生活相談員。

8. 職員配置状況（厚生苑清流の郷）

平成 26 年 3 月 31 日現在

職 名	特 養 ショートステイ			デイサービス		
	常	非	兼	常	非	兼
施 設 長	1	-	-	-	-	(1)
副 施 設 長	-	-	1	-	-	(1)
事 務 員	2	-	-	-	-	(2)
介護支援専門員	-	1	1	-	-	-
生活相談員	2	-	-	1	-	(4)
介 護 職 員	52	4	-	-	8	(1)
看 護 職 員	5	1	1	1	4	-
管理栄養士	1	-	-	-	-	(1)
介 助 員	-	-	-	-	-	-
嘱 託 医 師	-	4	-	-	-	-
合 計	63	10	3	2	12	(10)

常 …… 常勤職員(嘱託職員含む) 非 …… 非常勤職員 兼 …… 兼務者

8. 職員配置状況（厚寿苑）

平成 26 年 3 月 31 日現在

職 名	特 養 ショートステイ			デイサービス		
	常	非	兼	常	非	兼
施 設 長	1	-	-	-	-	(1)
副 施 設 長	1	-	(1)	-	-	-
事 務 員	1	-	-	-	-	(1)
介護支援専門員	-	1	(1)	-	-	-
生活相談員	1	-	(2)	1	-	(1)
介 護 職 員	26	3	-	2	7	(1)
看 護 職 員	4	-	-	-	3	-
管理栄養士	1	-	-	-	-	(1)
介 助 員	-	-	(1)	-	1	-
嘱 託 医 師	-	4	-	-	-	-
合 計	35	8	(5)	3	11	(5)

常 …… 常勤職員(嘱託職員含む) 非 …… 非常勤職員 兼 …… 兼務者

9. 職員研修実施状況（厚生苑清流の郷）

月	参 加 研 修 名
4	「認知症予防の為に家庭で出来るリハビリテーション」「新任職員研修Ⅰ」「高次脳機能障害の基礎について」
5	「コンプライアンス講座」「失語症の基礎について知る」「中堅職員研修Ⅰ」「新任職員研修Ⅰ」「接遇・マナー講座（基礎編）」「レクリエーション講座」「広報担当者研修会（基礎編）」
6	「指導的職員研修Ⅰ」「認知症介護予防講座」「感染症講座（初級編）」「傾聴講座」「介護・看護リーダーのための指導力養成講座（中級編）」「介護記録の書き方講座（入所編）」「食中毒予防のための衛生講習会」
7	「続・認知症高齢者支援講座」「福祉職のためのリフレッシュ講座」「地域ケア従事者研修会」「介護技術基礎講座」「ユニットリーダー研修（講義）（実習）」「認知症介護実践研修（実践者研修）」「介護・看護リーダーのための指導力養成講座（中級編）」「接遇・マナー講座（指導者養成編）」「広報担当者研修会（応用編）」「高齢者福祉研究大会」
8	「介護職のための腰痛予防・改善&リラクゼーション実技講座」「福祉サービス苦情解決研修会」「指導的職員研修Ⅰ」「認知症介護実践研修（実践者研修）」「介護・看護リーダーのための指導力養成講座（中級編）」
9	「レクリエーション講座」「ターミナルケア入門講座」「介護職のための薬の知識講座」「感染対策セミナー」「施設長運営管理職員研修Ⅰ」「介護・看護リーダーのための指導力養成講座（中級編）」「安全運転管理者講習会」「認知症介護実践研修（実践者研修）」
10	「口腔のケア講座」「県福祉職合同入職式出席者フォローアップ研修」「高齢者虐待防止講座」「中堅職員のための組織性向上講座」「新任職員研修Ⅰ」「リスクマネジメント講座（基礎編）」「感染症講座（中級編）」「介護・看護リーダーのための指導力養成講座（中級編）」「頓服薬の基礎知識と効果的な使い方を学ぶ」「ストレスマネジメント講座」
11	「ユニットリーダー研修（講義）（実習）」「施設長等運営管理職員研修Ⅱ」「新人職員指導術講座」「ドクターからみた高齢者疾患の見過ごし方はいけないサイン」
12	「指導的職員研修Ⅱ」「リスクマネジメント研修」「効果の上がる OJT 実践講座」「中堅職員研修Ⅱ」「急変を見逃さないための救急講座」「排泄ケア講座」
1	「ユニットリーダー研修（講義）（実習）」「新任職員研修Ⅱ」「身体拘束廃止フォーラム」「ケアマネ講座」
2	「福祉避難所研修会」「中堅職員研修Ⅲ」「中部支部管理者研修会」「社会福祉士実習指導者講習会」「看護師研修」「リスクマネジメント講座（応用編）」「中部支部職員研修会」「施設職員のための多職種連携講座」「高齢者の転倒予防講座」「社会福祉ミニセミナー（高齢者の医学基礎知識）」「ケアマネ講座」
3	「社会福祉施設等のための災害対策基礎講座」

9. 職員研修実施状況（厚寿苑）

月	参 加 研 修 名
4	「新人職員研修」「新任職員研修Ⅰ」「不在者投票説明会」
5	「接遇・マナー講座」「静岡県老人福祉施設協議会定例総会」「労働法制関係研修」「中部支部老人福祉施設協議会定例総会」
6	「第1回静岡市老人福祉施設連絡会」「高齢者疑似体験インストラクター要請研修」「接遇マナー研修会」「感染症講座初級編」「新任職員研修Ⅰ」「障害者福祉サービス提供モデル事業説明会」
7	「認知症介護実践者研修」「ふじの国防災士フォローアップ研修」「介護・福祉士実習指導者研修」「介護保険施設等における看護リーダー研修」
8	「介護福祉士実習指導者研修社会福祉実習報告会」「静岡県JA高齢者福祉事業研究会、第1回経営者・管理者合同部会」「第1回管理栄養士合同研修会～バランスのとれた食生活のすすめ～」
9	「ユニットリーダー研修」「ユニットリーダー研修実習」「感染対策セミナー」「安全運転管理者・副安全運転管理者講習」「第2回静岡市老人福祉施設連絡会」「認知症介護実践リーダー研修」
10	「ユニットリーダー研修実習」「静岡県介護福祉士会研修、精神疾患」「静岡県福祉職合同入職式参加者フォローアップ研修」「認知症介護実践リーダー研修」「安全運転教育講座」「正しい救急の利用法講座」「リスクマネジメント講座」
11	「身体拘束廃止推進看護実践者研修」「認知症介護実践リーダー研修」「介護実践報告会」「創傷ケアセミナーin 静岡」「ファーストステップフォローアップ勉強会」「静岡県JA介護事業者従事者レベルアップ研修会～認知症の対応について～」「第3回静岡市介護相談員情報交換会」「施設ケアマネ研修会」「静岡県の災害ソーシャルワークについて考えるセミナー」
12	「第3回静岡市老人福祉施設連絡会」「リスクマネジメント研修」「認知症介護実践リーダー研修」「効果のあがるOJT実践講座」「急変を見逃さないための救急講座」「排泄ケア講座」
1	「認知症介護実践リーダー研修」「施設ケアマネ研修」「新任職員研修Ⅱ－2」「安西地区認知症ミニ講演会」「コミュニケーション技法講座」「身体拘束廃止フォーラム」「ユニットリーダー研修」「静岡市介護保険サービス事業者説明会」「プリセプター研修」
2	「ユニットリーダー研修」「福祉避難所研修会」「地域ケア従事者研修会」「認知症介護実践研修」「社会福祉士実習指導者講習会」「静岡県老人福祉施設中部支部管理者研修会」「静岡県老人福祉施設中部支部総会」「平成25年度看護師研修」「口腔ケア研修」「静岡厚生病院慢性期医療連携総会」「認知症介護実践リーダー研修」「介護福祉士国家資格取得対策講座」
3	「認知症介護実践研修」「第4回静岡市老人福祉施設連絡会」「静岡県老人福祉施設協議会定例総会」「栄養講習会、災害時における心のケア～災害時の心の問題とセルフケアを学ぶ～」「介護支援専門員の医療知識スキルアップ研修」「実習指導者懇談会」「静岡県JA高齢者福祉事業研究会、第2回経営者・管理者合同部会」

平成 2 5 年度

在宅事業部 事業報告

平成25年度 主たる活動報告一覧表(在宅事業部)

月	実 施 事 項	実 施 日
4 月	静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会「第1回企画部会」	17日(水)
	在宅会議	18日(木)
	地域で高齢者を支える会	18日(木)
5 月	平成24年度監事監査	20日(月)
	運営推進会議	21、22日
	在宅会議	24日(金)
6 月	JA 高齢者福祉事業研究会「第1回居宅介護支援事業所部会」	12日(水)
	第1回静岡市葵区地域包括支援センター運営部会	12日(水)
	介護保険勉強会(生命保険会社)	13日(木)
	JA 高齢者福祉事業研究会「第1回訪問介護部会」	18日(火)
	JA 高齢者福祉事業研究会「第1回通所部会」	20日(木)
	職員共済会・総会	21日(金)
	第8回高齢者健康講座	22日(土)
	在宅会議	28日(金)
7 月	在宅会議	24日(水)
	運営推進会議	24日(水)
	JA 静岡市・静岡厚生会業務提携事業運営委員会	26日(金)
8 月	地域で高齢者を支える会	19日(月)
	新・さくらの郷デイ 企画委員会	23日(金)
	在宅会議	23日(金)
	運営推進会議	28日(水)
	JA 高齢者福祉事業研究会「第1回経営者・管理者合同部会」	29日(木)
9 月	新・さくらの郷デイ 企画委員会	12日(木)
	在宅会議	20日(金)
	柳町・水神祭	23日(月)
	運営推進会議	25日(水)
10 月	静岡市・介護保険課 実地指導(包括)	11日(金)
	地域ケア会議	23日(水)
	在宅会議	24日(木)
11 月	JA 高齢者福祉事業研究会「第2回訪問介護部会」	7日(木)
	地域防災訓練	17、24日(日)
	在宅会議	22日(金)
	運営推進会議	27日(水)
12 月	地域防災訓練	1日(日)
	職員共済会忘年会	6日(金)
	ケアマネと病院相談員との連携会議	12日(火)
	在宅会議	19日(木)
1 月	地域で高齢者を支える会	15日(水)
	JA 高齢者福祉事業研究会「第2回通所部会」	16日(木)
	運営推進会議	22日(水)
	在宅会議	24日(金)
	認知症ミニ講演会	29日(水)
2 月	JA 介護保健事業研究集会	9日(日)
	社協・包括連携会議	17日(月)
	在宅会議	26日(水)
3 月	地区社協認知症勉強会	8日(土)
	JA 高齢者福祉事業研究会「第3回通所部会」	14日(金)
	JA 高齢者福祉事業研究会「第2回居宅介護支援事業所部会」	17日(月)
	在宅会議	19日(水)
	運営推進会議	20、26日

在宅事業部

運営概要

平成25年度は、旧厚生苑に隣接した建物を大規模改修し、「厚生苑 JA さくらの郷」となり、12月に居宅、1月に訪問、3月には新聞よりデイサービスが移転し在宅事業部の拠点となりました。このことにより、城西地域包括エリアと長田地域包括エリアを中心に事業を展開しました。

最近では、一家で複数の問題を抱える世帯や、ターミナル期を在宅で過ごす利用者が多くみられます。起こりえる問題に対応するため、多職種・他事業所との連携を強化し、職員一人ひとりが基本となる「報告」「連絡」「相談」を重視することができました。著しく変化する利用者の状態に合わせたプランの変更や介助方法考え、「住み慣れた地域で、その人らしく生活したい」という想いに応えるべき質の高いサービスの提供に努めました。

また、家族やサービス提供事業所だけでは「認知症」の高齢者を支えることが難しく、地域の方々に認知症を理解してもらう勉強会を開催しました。

運営面においては、高齢者の方が住みやすく「ひとり暮らし」や「高齢者世帯」が多い地域ということが逆に「施設入所」に結びやすく、どの事業所も新規の受け入れ利用者数より終了利用者数が上回ってしまいました。重度の利用者だけでなく、軽度の利用者も一人で過ごす不安や遠方の家族が抱える不安を回避するために有料施設などへの入所が増えた年でした。

このように在宅事業部にとっては昨年と同様に厳しい一年となりましたが、その中でも、新聞から移転したデイサービスでは利用者が一人も欠けることなく、利用を続けていただけました。移転時に名称も新しくし、在宅事業部の繋がりを外部に伝える良い機会となりました。

1. 厚生苑ホームヘルプサービス J A さくらの郷

ア. 運営概要

関連機関との連携を密にとることで、当圏域のケアマネジャーから新規利用者の紹介を多くいただいた反面、ひとり暮らしや高齢者世帯の多くの方々が施設入所で終了となりました。今年度はターミナル期を在宅で過ごす利用者も増え、プランの変更が頻繁となり、長期の利用が減少する傾向にありました。早急な対応が必要とされる中で、介護保険のサービスだけでは支えきれず自費でのサービスを利用される方も増えた変動の激しい年でした。また、常勤職員がサービス提供責任者としての責務を持ち、担当ヘルパーから報告を受け、情報を共有化しサービスの質の向上を図りました。利用者の現状を見極め、できるだけ長く利用者が望む在宅生活が継続できるよう迅速かつ的確なサービスの提供に努めました。3人のサービス提供責任者が同じ方向で仕事ができるよう話し合う時間を多く持ち、協力しあうことができた一年でした。

イ. 利用状況

利用世帯状況と構成

平成 26 年 3 月 31 日現在

世 帯 状 況	世帯数	世 帯 構 成	世帯数
一般世帯（利用料負担率 10%）	74 世帯	ひとり暮らし	48 世帯
社会福祉法人減免世帯（7.5%）	4 世帯	高齢者世帯	10 世帯
生活保護世帯（0%）	10 世帯	そ の 他	30 世帯
合 計	88 世帯	合 計	88 世帯

最低年齢 53 歳 最高年齢 100 歳

2. 厚生苑ケアマネジメントサービスＪＡさくらの郷

運営概要

平成２５年度は運営方針として以下の三つを掲げ運営してきました。

- ①利用者・ご家族が穏やかで安全な在宅生活がおくれるよう信頼関係を築き最適なプランを作成する努力をします。
- ②正確な情報の理解と把握に心がけ、利用者（ご家族）が状況に合わせて選択できる提案に心がけます。
- ③各々ケアマネジャーの質の向上にむけ、指導力強化とプロ意識を持った仕事ができるよう学びに努めます。

- ①については住み慣れた地域で安全な生活を送れるよう、必要時訪問し適切なケアプランの作成、サービス提供状況の確認を行いました。
- ②については都度利用者、ご家族、各サービス提供事業者様等からの情報収集に努め、心身の状況に合わせた多様なプラン提案を行いました。
- ③毎週１回のケース検討や、職能団体主催の研修にも積極的に参加しレベルアップに努めました。

今年度は職員の異動、事業所の移転等ありましたが運営方針を基にサービス提供に支障をきたすことなく事業運営できました。

3. ＪＡ厚寿苑ケアマネジメントサービスみずほの郷

運営概要

事業開始３年目を迎えた平成２５年度は、利用者の入退院が目立ちました。また、重度な状態となっても在宅での介護を継続したいというケースや在宅での看取りのケースにも向きあうことが多く、取り巻く家族との関わりや主治医や医療系サービスとの連携を深めることができた一年でした。

一人ケアマネジャーの事業所として、頭を抱えることも多くありましたが、当該区域の長田地域包括支援センター担当者などから助言を受け、それぞれのケースにできる限り時間をかけて向き合い支援を実施しました。

4. 厚生苑デイサービスセンターJ Aさくらの郷

運営概要

今年度は、長く継続している利用者の重度化が進んできており、長期の利用休止や終了が増加傾向にありました。

また、長引いた冬季の感染症により大勢の利用者の長期間の休止が、後半の稼働率低下の大きな原因となりました。

複数のデイを利用される方やデイとショートを組み合わせて利用される利用者の増加から、利用者数は変わらず、利用日が減少傾向となってしまいました。

しかし、3月の移転に関しては、全員が利用を継続した事で、大幅な減少にはなりませんでした。このことに感謝しつつ、この信頼を裏切らないよう農園活動に替わる特色を打ち出していこうと職員が取り組み始めたところです。

デイサービス年間行事実施状況（さくらの郷）

月	月 毎 の 行 事	レクリエーション活動等	
4	お花見・こいのぼり作り	ボランティア	毎日のレク
5	フラワーアレンジメント・飾り玉作り	ハーモニカと歌う	貼り絵・切り絵
6	暑中見舞い作り	カラオケひまわり会	折り紙
7	七夕祭り・壁面大作作り	腹 話 術	壁面飾作り・クラフト
8	夏祭り・染物	大 正 琴	頭脳リクエーション
9	敬老会・コスモス畑見学	マジック	カラオケ
10	運動会・農園へ行こう	フラダンス	大人の塗り絵
11	年賀状作り	いなせの会	ちぎり絵・園芸
12	絵馬作り・クリスマス会	バクバククラブ	ゲーム
1	新春お楽しみ会・福笑い	毎月の行事	
2	豆まき・おやつレク・梅花見	カレンダー作り	
3	ひな祭り・花見	体重測定・防災訓練	

５．ＪＡ厚寿苑デイサービスセンターみずほの郷

運営概要

事業開始から３年目を迎え、開所当初から長く継続して利用して下さっている利用者も多くいます。その反面、初回お試しでの利用をされてもその後の利用に繋がらないケースもありました。その要因の一つとして、特色を打ち出す他事業者が多く開設されたことが挙げられます。

２４年度から開始した土曜営業については、当初は利用率が伸び悩みましたが、今年度に入り、一番利用者数が多い曜日となり平均稼働率は８５％を超えています。また、１日通しての利用が体力的に難しい利用者に対し、短時間でのサービスの提供も行ないました。利用者の介護状況は中度の方が少なく軽度者と重度者の二極化した形となりました。利用率は４、５月については落ち込みが見られましたが、６月からは７５％～８０％と比較的安定しました。

また、創作レクの材料費や光熱費など、無駄な経費の削減に努めることを職員全員が意識し、職員のアイデアで利用者に喜んでいただけるサービス提供に努めました。

デイサービス年間行事実施状況（みずほの郷）

月	月 毎 の 行 事	レクリエーション活動等	
４	菖蒲壁画作り お花見	ボランティア	毎日のレク
５	春の小運動会 母の日プレゼント作り	ＪＡ オレンジの会	リハビリ体操
６	父の日プレゼント作り セタ飾り	長田ハーモニカクラブ	貼り絵・クラフト
７	すだれ製作 紙芝居 夏祭り準備	大道芸とと一座	大人の塗り絵
８	夏まつり 金魚小物作り	マジックぽぽ	壁面飾り作り
９	敬老のお祝い 紅白饅頭作り	メイクアップ教室	頭脳レクリエーション
１０	運動会 万国旗作り	木遣り	映画鑑賞・園芸
１１	カラオケ大会 年賀状作り		ゲーム 散歩
１２	クリスマス 正月飾り作り(午の置物)	体力測定	認知症予防運動
１	お正月 福笑い	防災訓練	でんでん体操
２	節分・豆まき おひな様クラフト		
３	花見（さくら）	毎月：カレンダー作り	

6. 静岡市葵区城西地域包括支援センター

ア. 運営概要

城西地域包括支援センターの圏域は、番町、安西、青葉、駒形、新通、田町地区の6地区を担当し、静岡市内で中山間地に次ぐ高齢化率の高い地域です。独居、高齢者世帯が多く、また単身の子供との同居世帯、一家に複合的な問題を抱える世帯が増加しているため、認知症や虐待、成年後見制度に関する相談が増え、関係機関と連携しながらの対応を求められました。

イ. 総合相談支援

年間の相談人数は1,727人、対応件数は4,044件で、昨年並みの相談人数でしたが、対応件数は299件増加となりました。高齢者数の増加と広報紙の全戸配布等で包括センターの周知が深められたことに加え、複数回、多回数のアプローチが必要な相談内容が多かったことが考えられます。

地区別対応件数は、西部地区が最も多く、次いで田町地区、安西地区、番町地区が横並びの状況となりました。相談内容は、介護保険の申請からサービス利用までの支援が最も多く、次いで二次予防高齢者の対応となりました。

①地区別 年間相談件数

地 区	安 西	西 部	中 部	田 町	番 町	圏域外	不 明	合 計
相談人数	380	369	122	377	424	40	15	1,727
対応件数	865	968	328	948	860	59	16	4,044

②相談内容

相 談 内 容	計	相 談 内 容	計
介護保険申請からサービス利用までの支援	1,637	在宅福祉サービス	45
二次予防高齢者	789	成年後見・日常生活自立支援事業	28
その他	397	消費者被害	25
生活状況の確認	310	病院に関する相談	16
認知症の相談	147	苦情	16
高齢者実態調査に基づく訪問	112	日常生活支援総合事業	13
ケアマネジャーの支援	104	障害に関する相談	11
虐待・虐待疑い	98	地域の情報提供	10
退院に関する相談	72	生活保護に関する相談	9
施設の入所相談	57	総計	3,896

ウ. 権利擁護事業

権利擁護業務は、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が維持できることを目指しています。

年間延べ対応件数は、虐待・虐待の疑いが 98 件、成年後見制度に関することが 28 件、消費者被害に関することが 25 件でした。

地域の方々の見守り力と、ケアマネジャーの権利擁護への意識が高まってきていることが相談につながり、対応は包括センターと関係機関で役割を確認しながら行うことで、専門性が有効に活用されました。

エ. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域の高齢者を見守るネットワークを強化していくために、地域の自治会、地区社協、民生委員、老人会、福祉委員、居宅介護支援事業所、サービス事業所、行政、市社協等との連携に努めました。

オ. 介護予防ケアマネジメント

介護予防地域支援事業は、対象者把握の変更と委託事業所の増加で、教室参加者が 83 名に増えました。予防給付数は月平均 380 件で、委託件数が受託件数の約 3 倍になりました。

7. 職員配置状況

平成 26 年 3 月 31 日現在

	ホームヘルプサービス さくらの郷			ケアマネジメントサービス さくらの郷			ケアマネジメントサービス みずほの郷			デイサービスセンター さくらの郷			デイサービスセンター みずほの郷			城西地域包括 支援センター		
	常	非	兼	常	非	兼	常	非	兼	常	非	兼	常	非	兼	常	非	兼
在宅事業部長	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)
在宅事業副部長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
管理者	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)
事務職員	-	1	-	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	(1)
介護職員・通所相談員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	3	7	-	-	-	-
看護職員(機能訓練指導員)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3	-	-	-	-
訪問介護員	4	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主任介護専門員	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
保健師	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
社会福祉士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	(1)
介護支援専門員	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	-	-	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介助員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
計	4	13	-	2	4	-	1	-	-	2	9	-	3	10	-	7	-	-

8. 職員研修実施状況（在宅事業部）

月	参 加 研 修 名
4	「運動器機能向上事業委託業務研修会」「静岡緩和ケア研修会」
5	「認定調査員新任研修」「総会」および「管理者・現任職員研修」「市民公開講座 認知症の人と家族とともに～認知症をもっと知ろう～」 「高齢者虐待対応支援に関する研修会」「静岡県介護支援専門員協会Ⅰ」
6	「主任ケアマネ研究会発表会」「相談援助スーパーバイザー育成講座」「新任ケアマネ研修」「介護支援専門員研修【専門研修課程Ⅱ】」「認知症サポーター養成講座」
7	「専門研修課程Ⅰ」「第1回地域事例研究ネットワーク」「静岡市地域包括支援センター職員課題別研修」「地域包括支援センター初任者研修」
8	「主任介護支援専門員研修」「静岡市地域包括支援センター職員資質向上研修【ファシリテーション】【インテークを学ぶ】【記録の書き方を学ぶ】」「災害時ケアマネジメント指導者養成研修」
9	「レクリエーション講座」「コミュニティーソーシャルワーカー養成講座」「第2回城東・城西地区地域事例研究ネットワーク」「地域包括支援センター等職員研修」「高齢者虐待対応事例検証ケア会議」「平成25年度介護予防研修」「静岡ケアマネ協会全体研修」
10	「コミュニケーション技法講座」「大規模地震に備えケアマネにできる事」「医師、看護師スキルアップ研修（在宅医療研修会）」「静岡緩和ケア研究会」「介護予防支援従事者研修」「静岡市地域包括支援センター資質向上研修」「静岡市認定調査員現任研修」「主治医の意見書研修会」
11	「在宅における排泄ケアの基礎知識&実践について」「第3回城東・城西地区地域事例研究ネットワーク」「失語症の方を支援する工夫～話す力を支え続けるために～」 「認知症ケアに携わる多職種協働研修」「J A介護保険事業従事者レベルアップ研修会【認知症の対応について】」「地域包括支援センター新任研修」「地域包括支援センターにおける個人情報保護研修会」
12	「静岡市地域包括支援センター職員課題別研修」「認知症ケアに携わる多職種協働研修」「J A介護保険事業従事者レベルアップ研修会【認知症の対応について】」
1	「認知症ケアに携わる多職種協働研修」「支援困難事例対応研修～支援困難事例とどう向き合うか～」 「地域ケア会議活用推進研修」「高齢者虐待対応事例検証ケア会議」「コミュニケーション技法講座（応用編）」
2	「訪問介護員研修【訪問介護適性実施等研修】」「第4回城東・城西地区地域事例研究ネットワーク」「退院後におけるその人らしさの支援～高次脳機能障害のある方への地域生活から就労まで～」 「介護に生かす口腔ケア」「静岡市認定調査フォローアップ研修」
3	「難病患者等ホームヘルパー養成研修（基礎課程Ⅰ）」「地域の支え合い活動シンポジウム」「第1回しぞ～かでん伝体操サポーター認定研修会」「弁護士法律相談に関する意見交換会」